



9月 えんだより



ともしび保育園 9月1日発行

「心温まる瞬間を大切に」

今年の夏も暑い日々が続いていましたが、今年は昨年よりもプールを楽しむことができた夏になりました。熱中症アラートは毎日のように出ていたものの、園内に設置した計測器の熱中症指数がプール遊びが可能な範囲内であることが多く、子どもたちは目を輝かせながら水の心地よさを感じたり、時にはダイナミックに水と触れ合い夏を満喫して過ごしました。

私は今フリー保育士という立場でいろいろなクラスに入り、たくさんの子どもたちと触れ合っています。2、3日ぶりにクラスに入ると“あれ？こんなこともできるようになってる！”と子どもたちの成長に驚かされることも多々あります。

そんな中ここ半年で印象に残った出来事を2つ紹介したいと思います。

一つ目は0歳児クラスの子が初めてお家の方にバイバイをして離れることが出来た姿に出会えたことです。できるようになったバイバイを保育者の抱っこ腕の中からお家の方に向けて振る姿にお家の方も涙ぐんでいらっしゃいました。

もう一つは1歳児クラスで「お片付けしよう！」と声を掛けたときのことです。年齢の小さいクラスではお片付けのことを「ナイナイしよう」と声を掛けることがあります。その時も「ナイナイしよう」と声を掛け、保育者が遊具を片付けていました。すると「ナイナイ、ナイナイ」と言いながら歩いている子どもたちがいました。「ナイナイ」と発しているうちに子どもたちの言葉が「ナイナイ」から「イナイ、イナイ」に変わってしまい、保育者がお片付けをする側で棚の陰から「バー！」と“いないいないばあ”を楽しむ子どもたちの姿がありました。その姿がなんとも微笑ましく、お片付けの手も止まり思わず笑ってしまうひと時でした。

小さなクラスの子どもたちでも日々お友だちの姿を見たり、保育者の声をよく聞いて自分の覚えたことや知っていることを行おうとする姿がなんとも微笑ましく、どちらも心が温まる瞬間でした。

保護者の皆さまも日々の忙しさの中で子どもたちの成長を感じたり心温まる瞬間があるかと思います。その一つひとつを一緒に喜び合い、大切にしながら保育園と家庭が同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えるお手伝いができるようこれからも子どもたちに寄り添って保育をしていきたいと感じています。

皆藤 美穂